

平成22年5月期 第1四半期決算短信

平成21年10月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 カネコ種苗株式会社
 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 長谷 浩克
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月14日
 配当支払開始予定日 —

TEL 027-251-1619

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第1四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第1四半期	10,228	1.4	198	△19.9	200	△24.6	117	△15.7
21年5月期第1四半期	10,089	—	248	—	265	—	139	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第1四半期	10.05	—
21年5月期第1四半期	11.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第1四半期	29,536	10,237	34.7	877.90
21年5月期	33,345	10,171	30.5	872.27

(参考) 自己資本 22年5月期第1四半期 10,237百万円 21年5月期 10,171百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	6.00	—	10.00	16.00
22年5月期	—	—	—	—	—
22年5月期(予想)	—	6.00	—	10.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	19,500	0.3	280	△11.2	300	△15.9	160	△1.4	13.72
通期	46,000	3.9	1,430	△0.2	1,450	△1.9	810	△1.0	69.46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 有 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年5月期第1四半期 | 11,772,626株 | 21年5月期 | 11,772,626株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年5月期第1四半期 | 111,461株 | 21年5月期 | 111,330株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年5月期第1四半期 | 11,661,248株 | 21年5月期第1四半期 | 11,662,702株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融不安発生の影響を受けた景気後退局面からは、やや回復の兆候が見られるものの、失業率が過去最悪の水準となるなど雇用情勢は一段と厳しさを増し、引続き低迷しております。また、国内農業の状況は、農業従事者の高齢化等の構造問題に加え、天候不順により農作物の作柄が悪化し、農家経営をより不安定にしております。こうしたなか、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、円高の影響等から野菜種子の販売が減少したことや人件費の増加などから、売上高は102億28百万円で前年同期比1億39百万円（1.4%）増と増収を確保したものの、利益面では、営業利益1億98百万円で前年同期比49百万円（19.9%）減、経常利益2億円で前年同期比65百万円（24.6%）減、四半期純利益1億17百万円で前年同期比21百万円（15.7%）減と、減益となりました。

各事業の種類別セグメントの概況は以下のとおりであります。

（種苗事業）

種苗事業においては、野菜種子が円高の影響等から減収となったことや、ソルガム類などの飼料作物種子が播種適期の多雨により播種を見合わせる農家があるなど需要が減退したことで苦戦し、売上高16億18百万円で前年同期比3.3%の減収となりました。

（花き事業）

花き事業においては、家庭菜園需要を反映した野菜種子及び苗の売上増や農薬等の売上増など、ホームユース向け商材の伸長により、売上高22億26百万円で前年同期比1.0%の増収となりました。

（農材事業）

農材事業においては、農薬使用量の減少や先安感等により需要が低迷するなか売上増進を図り、売上高46億15百万円で前年同期比4.5%の増収となりました。

（施設材事業）

施設材事業においては、農家の設備投資意欲の減退等厳しい状況のなか、当社商品の優位性が認められた養液栽培プラントの完工売上高が増加したものの、農業用ハウスの需要減や価格の先安感に伴う買い控え等もあり、売上高17億14百万円で前年同期比1.4%の減収となりました。

（造園事業）

売上高53百万円で前年同期比4.1%の減収となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、295億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して38億9百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

また「負債の部」の残高は、192億98百万円となり、前連結会計年度末と比較して38億74百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

「純資産の部」の残高は、102億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して微増となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は21億94百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億92百万円増加いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に仕入債務の減少額が売上債権の減少額を上回ったことにより、資金は11億54百万円減少（前年同期比51.5%減）いたしました。

営業活動により不足した資金を短期借入金で調達したため、財務活動によるキャッシュ・フローは23億96百万円増加（前年同期比16.3%減）いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間及び通期ともに平成21年7月16日付の平成21年5月期決算短信で公表いたしました前回予想を、下表のとおり変更いたします。

変更する要因は、施設材事業で増収を見込んでいたものの、農家の設備投資意欲の減退等で需要低迷が激しく、前回予想時ほどの増収は見込めず売上高予想を減額し、それに伴い各利益も前年同期比横ばい程度に減額いたします。ただし、第2四半期連結累計期間の各利益は前回予想時より前年同期比減益を見込んでおり、今回変更はありません。また、施設材事業以外の種苗・花き・農材・造園の各事業については、前回予想時と大きな変動はありません。

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	20,000	280	300	160	13.72円
今回修正 (B)	19,500	280	300	160	13.72円
増減額 (B - A)	△500	—	—	—	—
増減率 (%)	△2.5	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成20年11月)	19,442	315	356	162	13.92円

通 期

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	47,000	1,530	1,550	850	72.89円
今回修正 (B)	46,000	1,430	1,450	810	69.46円
増減額 (B - A)	△1,000	△100	△100	△40	△3.43円
増減率 (%)	△2.1	△6.5	△6.5	△4.7	△4.7
(ご参考) 前期同期実績 (平成21年5月)	44,271	1,432	1,477	817	70.14円

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法については、当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

(ロ) たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」

（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、これによる売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,583,342	1,390,619
受取手形及び売掛金	13,728,351	18,747,854
商品	4,109,387	4,417,046
その他	1,100,022	866,382
貸倒引当金	△48,006	△65,998
流動資産合計	21,473,097	25,355,905
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,120,338	4,120,338
その他(純額)	1,884,326	1,881,999
有形固定資産合計	6,004,664	6,002,338
無形固定資産		
投資その他の資産	176,093	183,762
その他	1,935,098	1,855,950
貸倒引当金	△52,679	△52,337
投資その他の資産合計	1,882,418	1,803,612
固定資産合計	8,063,177	7,989,714
資産合計	29,536,274	33,345,619
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,772,975	17,536,575
短期借入金	5,502,166	3,012,166
未払法人税等	89,024	394,648
その他	726,509	1,005,122
流動負債合計	18,090,675	21,948,512
固定負債		
長期借入金	—	3,583
退職給付引当金	981,579	997,430
役員退職慰労引当金	198,230	195,030
その他	28,460	29,249
固定負債合計	1,208,270	1,225,292
負債合計	19,298,946	23,173,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,752,030	1,752,030
利益剰余金	6,899,140	6,898,508
自己株式	△65,615	△65,497
株主資本合計	10,076,822	10,076,309
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	160,506	95,503
評価・換算差額等合計	160,506	95,503
純資産合計	10,237,328	10,171,813
負債純資産合計	29,536,274	33,345,619

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
売上高	10,089,134	10,228,674
売上原価	8,344,637	8,488,217
売上総利益	1,744,497	1,740,456
販売費及び一般管理費	1,496,279	1,541,592
営業利益	248,217	198,863
営業外収益		
受取配当金	11,642	8,903
受取家賃	12,790	12,870
その他	12,374	3,128
営業外収益合計	36,807	24,902
営業外費用		
支払利息	17,991	14,842
投資事業組合運用損	—	8,447
その他	1,469	199
営業外費用合計	19,461	23,489
経常利益	265,563	200,275
特別利益		
貸倒引当金戻入額	954	17,649
特別利益合計	954	17,649
特別損失		
投資有価証券評価損	26,397	14,720
その他	1,095	79
特別損失合計	27,493	14,799
税金等調整前四半期純利益	239,025	203,126
法人税等	100,020	85,882
四半期純利益	139,005	117,244

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	239,025	203,126
減価償却費	52,678	45,364
売上債権の増減額(△は増加)	3,135,429	4,912,616
たな卸資産の増減額(△は増加)	△63,844	277,546
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,162,812	△5,955,752
その他	△295,619	△266,772
小計	△2,095,143	△783,871
法人税等の支払額	△278,717	△366,416
その他	△4,758	△4,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,378,618	△1,154,809
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,155	△31,849
投資有価証券の売却による収入	64,573	—
その他	△459	△16,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	47,959	△48,731
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,940,000	2,490,000
配当金の支払額	△71,972	△90,035
その他	△3,962	△3,701
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,864,064	2,396,262
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	533,405	1,192,722
現金及び現金同等物の期首残高	895,204	1,002,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,428,610	2,194,842

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年8月31日）

	種苗事業 (千円)	花き事業 (千円)	農材事業 (千円)	施設材事業 (千円)	造園事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	1,672,814	2,205,324	4,416,957	1,738,426	55,613	10,089,134	—	10,089,134
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,631	188	145	3,624	—	11,588	(11,588)	—
計	1,680,445	2,205,512	4,417,102	1,742,050	55,613	10,100,722	(11,588)	10,089,134
営業利益又は営業損失(△)	335,874	△31,828	122,338	21,431	△2,625	445,190	(196,973)	248,217

当第1四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）

	種苗事業 (千円)	花き事業 (千円)	農材事業 (千円)	施設材事業 (千円)	造園事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社(千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	1,618,193	2,226,468	4,615,868	1,714,794	53,351	10,228,674	—	10,228,674
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	11,382	18	607	4,271	—	16,278	(16,278)	—
計	1,629,575	2,226,486	4,616,475	1,719,065	53,351	10,244,952	(16,278)	10,228,674
営業利益又は営業損失(△)	293,863	△36,256	127,102	11,756	△6,360	390,105	(191,242)	198,863

(注) 1. 事業区分の方法

売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要製品

事業区分	主要製品
種苗事業	野菜種苗、飼料作物種子、緑化工事用種子、ウイルスフリー種苗
花き事業	球根、花苗、家庭園芸用資材
農材事業	農業用薬品、被覆肥料
施設材事業	農業関連資材、温室・養液栽培システムの設計施工
造園事業	造園・土木工事の請負施工

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年8月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成20年8月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成21年8月31日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。